

J E M A S 2025年5月セミナー

～財務会計と炭素会計の違いを、基本に立ち返って考えよう～

米国においてトランプ大統領の就任から約三か月が経過し、トランプ政権がSDGs、ESGや脱炭素、ウクライナ問題やパレスチナ問題等、さらには関税問題に代表されるグローバル社会への在り方等の既存の秩序に対して種々の側面から異論を唱えています。世界はこれに対しての対応に腰が定まらないのが現状といえましょう。

とはいえ、日本に於いては、地球温暖化問題とGXへの取り組み、2050年に向けてのCN達成は避けられない課題として、上記の課題とともに幅広く認識されています。

一方、企業や各種の組織・団体を運営管理していくためには、次の3点の大きな流れを考えていく必要があります。まずは有形無形を問わず事業の戦略と成果につながる経営の流れ、次に生物に例えると血液に相当する資金の流れ、第三には神経系や脳の活動に相当する情報を集め判断する流れがあります。資金の流れについては損益計算書、財産目録、キャッシュフロー等でまとめられ、企業やNPO等は毎年、対外公表とともに所管官庁に報告しなければなりません。

近年、企業ではCNやGXへの取り組みに関連して、炭素会計をまとめ、対外公表する動きが拡大しています。炭素会計は、事業活動に関連してのSCOPE1からSCOPE3の段階での地球温暖化ガス排出を取りまとめて公表する仕組みが中核です。

しかし、会計と名前がつくことにより、両者を混同や誤解して使用し、不正確な理解でものを考え判断している方がいることは残念なことです

JEMAS 5月のセミナーでは、日本大学商学部教授でこの分野に深く取り組んでおられる村井秀樹先生を講師にお迎えして、財務会計とは何か、中小企業や各種法人に求められる会計処理の基本と着眼点について基本からご説明いただくとともに、併せて炭素会計とは何かおよび炭素会計作成のポイント、財務会計と炭素会計の違い、炭素会計では何に着目すべきかをお話いただきたいと思っています。

日 時： 2025年(令和7年)5月18日(日) 14:00～16:00

ZoomへのアクセスURLはzoom参加申込者に、2～3日前に担当理事から連絡します。

講演テーマ 財務会計と炭素会計の違い、およびそれぞれの違いと着眼点

講師 日本大学商学部 教授

村井 秀樹 様

質疑応答および意見交換は講演時間に含みます

主 催：NPO法人 日本環境管理監査人協会（JEMAS）

お申し込み：以下の事項を記入し、メールにてご送付ください。参加費は無料です。

申し込み期限は令和7年5月12日（月）24時としますので厳守ください。

講演資料ですが、JEMAS会員を対象に講演会の数日前にJEMASのHPの会員専用欄にアップします。

会員外の方で資料ご希望の方はセミナー受付係に連絡ください。2000円でお分けいたします。非会員の方は是非この機会に是非ご入会ください（年会費8000円、入会費はなし）。

JEMASのHPは以下の通りです。 <http://jemas.net>

セミナー申し込み先 受付はセミナー受付係宛 Eメール：fukoyama@east.cts.ne.jp

①参加者御氏名

②ご所属（お差支えない場合）

③連絡先のmail address